令和４年度事業報告

令和５年５月 18 日

一般社団法人日本音響材料協会

1．継続事業(公益事業)

(1) 継-1 事業 (JIS 原案作成団体業務)

JIS A 6301 2019 年公示後のフォロー

(2)継-2 事業 (機関誌発刊等の出版事業)

1)機関誌「音響技術」通巻 198 号～202 号の発刊

・NO.198 号(令和４年６月発刊)　：　令和４年１月 20 日編集会議

・NO.199 号(令和４年９月発刊)　：　令和４年４月２日編集会議予定

・NO.200 号(令和４年 12 月発刊)　：　令和４年７月２日編集会議予定

・NO.201 号(令和５年３月発刊)　：　令和５年 10 月編集会議予定

・NO.202 号(令和５年６月発刊)　：　令和５年１月編集会議予定

［編集委員］（任期 ： 令和４年４月～令和５年３月）

委員長　井上　勝夫（日本大学　名誉教授）

委　員

阿部恭子（一般財団法人建材試験センター）　石渡智秋（(株)永田音響設計）　河原塚透（大成建設㈱　技術ｾﾝﾀｰ）

平光厚雄（国土交通省　国土技術政策総合研究所）　安田洋介（神奈川大学工学部建築学科）

渡辺充敏（㈱大林組　技術研究所）　岡本健久（日本環境ｱﾒﾆﾃｨ㈱）　事務局　猪脇章雄（日本音響材料協会）

↓

・NO.198 号(令和４年６月発刊) ＜特集＞With・After コロナと音環境

・NO.199 号(令和４年９月発刊) ＜特集＞住宅にかかわる音のトラブル

・NO.200 号(令和４年 12 月発刊) ＜特集＞(仮)音響材料協会と音響技術の現状と将来

・NO.201 号(令和５年３月発刊) ＜特集＞(仮)気象と音・振動,その対策

・NO.202 号(令和５年６月発刊) ＜特集＞　未定

2)DVD 販売に伴う機関誌「音響技術」の新規顧客の獲得

大学並びに執筆者への勧誘により新規顧客を増やす

↓

上期は十分 PR できていなかったので、下期は運営委員会メンバーと新規購読会員獲得に向けて検討。

3)「集合住宅のリフォームと音」の販売

建築学会での書籍紹介とリフォーム会社への PR

↓

建築学会からの連絡はなく、地道に音響技術、HP で PR する。

4)『音響技術史・音響材料を中心に』の編纂の推進

「音響技術」200 号:記念号の令和 4 年 12 月発刊に向けての取り組み

↓

座談会五つの開催を含む 22 テーマ 160 ページの音響技術 200 号記念を令和 4 年 12 月 22 日発刊。

井上先生に陣頭指揮を執っていただき 3 編作が完成。中でも座談会形式は、コロナ禍での開催のため、難しい状況もありましたが無事終了し、特に「音響技術の変遷と現状、将来」は、音にかかわる関係者には、有効な情報となった。

2. その他事業(収益事業)

(1) 他-1 事業（測定、検査等受託業務事業）

1) 音響材料及び建築物の音響性能調査、分析業務の受、委託の拡大

KI 音響:UR の委託測定 1,200 千円

↓

今年度は、UR の委託測定は未実施となった。令和 5 年度実施予定。

2) 会員等からの受託により一般財団法人小林理学研究所への測定依頼業務

受託業務拡大のために会員(正会員、研究・賛助会員、購読会員)に 5%引きメリットを知らしめる

3) 新規入会時【音響技術】会員の頁に技術原稿の掲載を条件に賛助会員へ勧誘

4) 理事会メンバー会社並びに正会員へ 200 号の広告掲載のお願い

↓

ハウスメーカーを研究会員に勧誘するも、なかなか現状では難しい状況で、粘り強くお願いする。

200 号記念として理事会メンバー各社から広告掲載を受けた。

(2) 他-2 事業（講習会開催事業）

今年度もコロナ禍での開催となるため、感染予防を徹底する。

1) 技術講習会開催　1回　：（令和 4 年 11 月予定）

2) 音響基礎講習会　1回　：（令和 4 年 7 月 20 日）

3) 勉強会　　0 回　：（令和 4 年 5 月　コロナ禍の影響もあり中止）

4) 見学会　　1回　：（令和 5 年 1 月予定）

↓

基礎講習会は 7 月に実施、技術講習会は形を変えて令和 5 年度に予定したい。

3. 次期役員について

(1)次期理事

従来の理事・監事は重任、大賀理事任期満了

大建工業㈱柴田理事異動により交代のため「宮本昌二氏」が理事に候補

↓

令和 4 年定時総会第 3 号議案の通り 10 名の理事並びに 2 名の監事を選任し、同第1回定時理事会で理事長、副会長、専務理事の 3 役を選任した。3 月理事会で佐治監事は理事に、一色理事は監事にお願いする。

また、宮本昌二理事、一色伸悟理事、幾田哲二理事、横山至理事、静永秀宏理事、並びに佐治猛監事、大槻清明監事より交代の申し出があり、総会で新理事、新監事の承認を得る。

4. 事務局運営体制の検討の推進

・事業活動も復活するため、一人体制の見直しで 2 日/週のアルバイトを採用

・「音響技術」の管理のシステム化

↓

事業復活のために検討したが、音響技術 200 号の発刊に伴い財務状況が厳しくなり、実施見送り。

5. 会議、定例行事

(1) 定時総会　　令和 4 年 5 月 19 日(木)（於 ： 日本ガラス工業センタービル B1 会議室）

↓

第 74 回定時総会議事録

日　時　　令和 4 年 5 月 19 日（木）　15:00～15：40

場　所　　日本ガラス工業センタービル B1 会議室

東京都新宿区百人町 3-21-16

出席正会員

旭ファイバーグラス㈱　ゼオン化成㈱　大建工業(株)　日本音響エンジニアリング(株)

日本環境アメニティ(株)　パラマウント硝子工業(株)　マグ・イゾベール(株)吉野石膏(株)

静永秀宏(個人正会員)

＜議長へ委任状提出＞アコス工業(株)　出雲土建(株)　東邦亜鉛(株)日本ソーラトン(株)

ピンチブロック(株)　ヤクモ(株)　和翔商事(株)　小山雅功(個人正会員)

総正会員数　　17 会員

出席正会員数　17 会員（出席 9 正会員、議長への委任状 8 正会員）

出席理事　　(敬称略)

山梨　忠志（日本音響エンジニアリング(株)）

一色　伸悟（日本環境アメニティ(株)）宮本昌二（大建工業(株)）

横山　至　（吉野石膏(株)）　静永　秀宏（個人正会員）

猪脇　章雄(専務理事)

出席監事　佐治　猛　（マグ・イゾベール(株)）　大槻　清明(パラマウント硝子工業(株)）

欠席理事　大賀　敏史（ゼオン化成(株)）　　小山　雅功（個人正会員）

［報告事項］

令和 4 年度事業計画と予算について

議長の指名により、専務理事から議案書の報告書に基づき、3 月度理事会で審議、決済した令和 4 年度の事業計画及び予算について説明があり、全員異議無く、報告を承認した。

［審議事項］

第 1 号議案

「令和 3 年度事業報告の件」

第 2 号議案

「令和 3 年度会計報告及び監査報告の件」

議長は第 1 号議案及び第 2 号議案の両議案について、関連があり一括審議とするとした。

議長の指名により、専務理事から議案書に基づき事業結果と決算内容の詳細説明がなされた。その後、監事を代表して佐治猛監事より会計監査並びに業務監査について、決算報告書は決算の状況を正しく示していると共に業務運営の状況を正しく示しているものと認めると共に理事の職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認めらないとの報告があった。議長は議決を求め全員異議無く、第 1 号議案及び第 2 号議案を原案通り可決、承認した。

第３号議案

「理事選任の件」

専務理事より令和 3 年度第 3 回理事会で重任の承認を得た理事を紹介した。

三木　良明（ゼオン化成(株)）

山梨　忠志（日本音響ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ(株)）

一色　伸悟（日本環境ｱﾒﾆﾃｨ(株)）

宮本　昌二（大建工業(株)）

幾田　哲二（旭ファイバーグラス（株））

横山　　至（吉野石膏(株)）

井上　勝夫（学識経験者・個人　日本大学名誉教授 ）

静永　秀宏（個 人正会員）

小山　雅功（個 人正会員）

猪脇　章雄（個人　日本音響材料協会協会専務理事）

議長は一人ひとりの議決を求め全員異議無く、第 3 号議案を原案通り可決、承認した。

第４号議案

「監事選任の件」

次に専務理事より令和 3 年度第 3 回理事会で重任の承認を得た監事を紹介した。

佐治　　猛（マグ・イゾベール(株)）

大槻　清明（パラマウント硝子工業(株)）

議長は一人ひとりの議決を求め全員異議無く、第４号議案を原案通り可決、承認した。

⑵ 理事会 3 回　令和 4 年 5 月 19 日(木) 、11 月 4 日(金)、 令和 5 年 3 月 24 日(金)

↓

令和 4 年度 第 1 回定時理事会

日 時　　令和 4 年 5 月 19 日(木) 15:40～17:00

場 所　　日本ガラス工業センタービル B1 会議室

東京都新宿区百人町 3-21-16

出席者　　(敬称略)

理事　　山梨 忠志(日本音響エンジニアリング(株))

一色 伸悟（日本環境アメニティ(株)）　宮本昌二(大建工業(株))

横山　至（吉野石膏(株)）　　三木 良明(ゼオン化成(株))

幾田 哲二(旭ファイバーグラス(株))

静永　秀宏（個人正会員）　　猪脇　章雄(個人専務理事)
監事　　佐治　猛　（マグ・イゾベール(株)）　大槻　清明(パラマウント硝子工業(株))
欠席者　理事　　小山　雅功（個人正会員）
［役員総数］理事 10 名、監事 2 名
［出席役員］理事 9 名、監事 2 名
［欠席役員］理事 1 名

開会、議長選出

事務局より開会が宣せられ、議長には当協会定款第27条第 5 項により三木良明理事長が選出され就任した。

有効性の確認と議事録署名人指名

三木良明理事長が議長に着任し、出席者の報告が事務局よりなされ、理事9名の出席があり定款第30条、第1項により本理事会での全ての決議が有効であることが宣せられた。議長は、議事録署名人に議長のほか、佐治猛監事、大槻清明監事、猪脇理事を指名し議事に入った。

議事事項

(1)第1号議題

「三役選任の件」

議長は議題の説明を求め、専務理事から詳細説明があった。

役職理事選任については、前回の令和 3 年度 11 月第 4 回理事会第 4 号議案で承認された議事録を読み上げた。

「変則的に令和 4 年度までの 3 年間をゼオン化成が担当するとして、令和 3 年 5 月の第 1 回定時理事会で承認されているため、現行では、理事任期と理事長任期の期限が 1 年ごとに違うことになり、混乱が続くと判断し、令和 4 年度から理事長、副理事長の役職については下記の通りの方向性が提案され、承認された。

令和 4 年度　理事長：三木良明、副理事長：山梨忠志（ただゆき）、宮本昌二
令和 5 年度　理事長：山梨忠志、副理事長：宮本昌二、佐治　猛
令和 6、7 年度　理事長：宮本昌二、副理事長：佐治　猛、大槻清明
令和 4 年度第 1 回定時理事会で役職役員選任、決裁していくこととした。」

残り三役の専務理事につきましては、従来の猪脇章雄の重任を諮り、
議長は、場に質問及び意見を求めたが特に無く、全員異議無く提案通り承認、決議した。

(2)その他

「音響技術 200 号:記念号について」

議長は議題の説明を求め、専務理事、井上勝夫理事より詳細説明があった。議長は井上理事の要請を受け、各理事・監事会社に 200 号:記念号の発刊に向けて協力するように依頼した。

その他　専務理事より今後の日程について説明があった。

(3) 賀詞交歓会　　令和 5 年1月 20 日(金)　　(於 ： アルカディア市ヶ谷)
(4) 運営委員会　　各月（於 ： 日本ガラス工業センタービル 2F　協会内会議室&WEB 会議）

令和４年度　一般社団法人日本音響材料協会

第２回定時理事会議事録

日　時:令和４年 11 月 10 日(木)　 15:00 ～16:30

場　所:八重洲倶楽部第７会議室(東京都中央区八重洲 2-1 八重洲地下街地下２階)

出席者　　(敬称略)

理事　　三木 良明(ゼオン化成(株)) 山梨 忠志(日本音響エンジニアリング(株))

宮本 昌二(大建工業(株))一色 伸悟 (日本環境アメニティ(株))

横山　至 (吉野石膏(株)) 幾田 哲二(旭ファイバーグラス㈱)

井上 勝夫(学識経験者・個人) 小山 雅功 (個人正会員) 猪脇 章雄 (個人)

監事　　佐治　猛 (マグ・イゾベール(株)) 大槻 清明 (パラマウント硝子工業(株))

[出席役員] 理事９名、監事２名

[役員総数] 理事 10 名、監事２名

[欠席役員] 理事 静永 秀宏(個人正会員)

開会、議長選出

事務局より開会の辞が述べられ、議長選任について当協会定款第27条第３項により三木理事長を議長とするとした。

有効性の確認と議事録署名人指名

三木理事長が議長に着任し、出席者の報告が事務局よりなされ、理事９名の出席があり定款第 30 条、第1項により本理事会での全ての決議が有効であることが宣せられた。議長は、議事録署名人に議長のほか、佐治猛監事、大槻清明監事並びに猪脇章雄専務理事を指名し議事に入った。

議事事項

第１号議案

「令和４年度中間業務報告及び会計見通し報告の件」

議長より担当者に報告を求め、専務理事より中間期の業務報告及び上期決算と下期見通しについての報告があり、全員より承認を得た。

説明内容:上期は、音響技術200号記念に伴い、夏場に五つの座談会を開催した。下期は、12月発刊に向けて編集作業を進める。当初予算では 200 号記念に 132 万円の費用増を織り込んでいたが、座談会が当初の４から５に増えたのと文字起こしの費用増、進捗打合せの回数を密にしたことによる経費増もあり、200 号の費用増は、当初 132 万円に 58 万円増の 190 万円の見込みとなる。

管理面では、業務改善のためにアルバイトの採用を見込んでいたが、支出増が予想されたことで、現状の人数で維持でき 94 万円の削減を見込む。

最終決算見込みは、前年度より 161 万円悪化するが、何とか 484 万円の時期繰越となる見込み。

また、費用がかさむ賀詞交歓会の中止については、「その他」の議案で承認を得る。

議案「その他」

1.「賀詞交歓会の中止について」

令和 5 年 1 月 20 日開催予定の賀詞交歓会については、当協会の 3 役で中止の判断を下し承認を得たが、井上理事から音響関係の専門家が一同に顔を合わせる貴重な場がなくなることを懸念し、来年 1 月の中止はやむを得ないが、是非とも形を変えてでも残してほしいとの要望あり。

2.「音響技術 200 号記念について」

現在 5 座談会の開催を含む 22 テーマも入稿し、12 月末発刊に向けて最後のラストスパートの段階。当初の 140 ページの計画から 158 ページと増える見込み。

3.「HP の更新について」

今年度の HP の更新は、より多くの人に見ていただくために、PC からスマホ対応に変更予定。最終 2～3 年かけて改定の見込み。

4. 井上理事より提案

(1)協会をもっと利用するように各社に依頼

具体的には、現在ゼオン化成から性能評価依頼が着ているが、協会を通じて実施してほしい。同様に他の会社もよろしくお願いしたい。

(2)協会を国の認定機関にすることを検討したい。例えば日本 ERI のような国の認定機関になるには、どのような条件が必要かを 3 月の理事会で省庁からヒアリングし報告、相談したい。

5. 専務理事より提案

令和 5 年 3 月の理事会時に、長年編集委員長を勤めていただいた井上先生へ感謝表彰と講演を依頼しようと考えている。

5.「日程の確認」

今後の理事会、総会の予定

理事会　　令和 5 年 3 月 24 日(金)15 時～17 時　場所:当協会 B1 会議室

総会・理事会　令和 5 年 5 月 18 日(木)15 時～17 時　場所:同上

議長は、その他の議題提議または意見を求めたが特に無く、全議事を終了し閉会を宣した。

運営委員会は、基本的には毎月第3木曜日に開催し、協会の問題を議論して改善していく組織で、
下記の運営委員会議事録は、直近 3 ヶ月分を掲載させていただきました。

以上

令和５年２月度運営委員会議事録

一般社団法人日本音響材料協会

期日　　:2023 年 2 月 16 日(木) 14:00～15:50

場所　　:日本音響材料協会 会議室 / WEB 会議

出席者 :猪脇専務理事、和田委員、山野委員、平田委員、※宮尾顧問、※近藤委員、※岡本委員、
※野桑委員　※オンライン参加

欠席者　　:松本委員、長島委員

議事録　　:野桑　　(以下敬称略)

1.　会員の頁について　(事務局)

・201 号(2023 年 3 月発刊)特集:気象による音・振動とその対策

技術原稿:　大建工業、日本環境アメニティ

Q&A:　マグ・イゾベール

⇒発行準備中

・202 号(2023 年 6 月発刊)

(1)　技術原稿:　吉野石膏

(2)　Q&A:　日本音響エンジニアリング

⇒原稿依頼済み

・203 号(2023 年 9 月発刊)

(1)　技術原稿:　未定

(2)　Q&A:　大建工業

⇒原稿依頼先選定中、依頼予定

「音響技術」会員の頁 Q&A は、協会 HP の Q&A 回答で企業へリンクされている部分の詳細説明をお願いしたい。HP の Q&A の順番に依頼していく予定。203 号は大建工業の予定

2.　【音響技術】関係 (事務局)

・最新版 DVD(第 4 版)の 2 月 9 日時点の販売実績　累計 91 枚　1、2 月 0 枚

・バックナンバーの 2 月 9 日時点の販売実績　2 月 0 冊 (累計 200 号 2 冊)

3.　出版本「集合住宅のリフォームと音」3,850 円(3,500 円+消費税 10%) (事務局)

・出版本の販売実績　1、2 月 0 冊

⇒建築学会からの新書としての紹介は難しい

・令和 4 年度 HP について (和田委員)

来年度分を業者に見積もりしたが再検討中。

音響技術 DVD 申込書の PDF が抜けているとの指摘あり、修正予定

4.　2023 年に向けての協会の進め方について (事務局)

・会員数を増やす方策検討

【購読会員】

⇒予算 240 名だが現状は 228 名の登録。石渡氏(永田音響)からの提案紹介受け紹介。

執筆者への勧誘、設計事務所への接触、座談会出席者からの紹介、先生からの紹介等を方策に過去経験から、具体的な紹介先への接触を試みる予定。

委員の意見)

・購読会員の執筆、広告を無償で掲載することは同意。工務店、中堅ビルダーあたりの紹介可能。
理事あたりから接触してもらうのが良いかも（近藤）
・具体的提案はないが、地道な紹介活動をするしかない。（野桑）
・音響技術を知りたいとの方々は正直少ない（平田）
・音響技術の編集委員だった際に設計事務所の先生とつながりができた。大学先生からの紹介のアプローチが早道かもしれない（岡本）
・つながりある人に音響技術を紹介するのは有効。また広い層に知ってもらう必要があるので、ホームページに座談会の一部を掲載し、詳細は有料とするような設定もどうか（山野）
・入会には社内承認が必要等ハードル高い、本を買う程度での設定や勧誘はどうか
営業等が音響技術を読んでみたくなるような内容にする。特集として電気音響、防音室の設計施工事例などはどうか(宮尾)
・チラシ案紹介する。検討してほしい。協会窓口等に設置し配布するのはどうか。購読会員になった時のメリットが表現できなかった。メリット掲載の意見が欲しい。（和田）
・技術講習会のようなテーマを決めた講習会には人が集まる（和田）
・広告掲載を条件に入会を求めるのもあり（猪脇）
【講習会の WEB 実施】 ⇒議論せず
【現場見学会】
⇒メーカーだと競合が立ち入ることができないなど少し抵抗がある。ゼネコン、大学の施設などは良いのではないか、各委員の意見を聞きたい。具体的な進め方をある程度まとめたものを、次月紹介するので協力をお願いする
委員の意見）
・見たい施設や場所について、会員へのアンケートは取れないか（平田）
・試験所の施設、つながりある小林理研あたりはどうか。民間の場所は入りやすいだろう。
訪問報告は HP に PDF で掲載は可能。代理店あたりを勧誘してみるのはどうか（和田）
・理事会では現場見学、講演会と宿泊等をセットに見学会を実施したこともあった（猪脇）
・ホールや野球場などゼネコン設計の方の講演と現場の見学をセットにして、苦労話や現場や設計の裏側、実施工製品などを見学できると良いかもしれない（野桑）
上記のアクションプランを作成し具体的に担当を決めて実施する。

5. 日程関係、その他 （事務局）

1) 基礎講習会（7 月）⇒講師と調整し、日程を決める。講師に打診予定
候補日：7/4、5、25、26 （前日は搬入日とする）
講師 ：日本環境アメニティ、日本音響エンジニアリング、ヤクモ
日程が決まったら、吉野石膏虎ノ門会議室の予約をする。

2) 勉強会（未定） ⇒コロナが納まってから検討する。（宮尾）

3) 技術講習会（未定）⇒講習会テーマ選定には注意が必要（宮尾）

4) 決算概況紹介 ⇒収入は 12,265 千円、支出は人件費削減、賀詞交歓会中止により、200 号出版費用を相殺。次期繰越金は 5 百円弱。会員退会（和翔、出雲土建、

静永理事等）による減収多くR5年度予算も厳しい。次月予算説明予定

5)　次回運営委員会　⇒3/16　14時~（日本ガラス工業センタービル会議室）

令和5年 3月度運営委員会議事録

一般社団法人日本音響材料協会

期日:2023年3月16日(木)　14:00～16:00

場所：日本音響材料協会　会議室／WEB会議

出席者　：猪脇専務理事、和田委員、山野委員、平田委員、※宮尾顧問、※近藤委員、※岡本委員、※野桑委員　※松本委員　　※オンライン参加

欠席者　：長島委員

議事録　：松本

1.会員の頁について

・201号（2023年3月発刊）特集：気象による音・振動とその対策

(1)　技術原稿：　大建工業

(2)　Q&A　マグ・イゾベール

・202号（2023年6月発刊）特集：音響に関する規格の現在（仮）

(1)　技術原稿：日本環境アメニティ

(2)　Q&A：日本音響エンジニアリング

HPの質問に対応する各社カタログ内容

・203号（2023年9月発刊）

新編集委員会メンバーで留任の大林組渡辺氏が担当

(1)　技術原稿：　吉野石膏

(2)　Q&A：　大建工業

前回にも話をしたが、HPのQ&Aに対してリンクを貼って各社に飛ぶようになっているが、各会社のHPに飛ぶだけか、質問の商品説明のところに飛ぶようになっているかどうか、各社毎にチェックする事。

＜質疑＞

・203号から編集委員が変るが、編集に関して何か方針の変更等があるか？（野桑委員）

＝ 4/17に新メンバーによる第1回目編集委員があるので、その時に確認可能。

運営委員の皆様からも何か要望があれば意見を出すので何かあれば連絡下さい。

2.【音響技術】関係

・最新版DVD（第4版）の3月9日時点の販売実績　0枚（累計91枚）

・バックナンバーは200号が少し出ている。（HPからの購入希望が来ている）

・音響技術の中の音響材料協会PRページは会員のページ（グリーン）に入っていたが、201号からは裏表紙の裏面（白）に移動してわかり易くする。

3.　出版本「集合住宅のリフォームと音」3,850円（3,500円+消費税10%）

・出版本の販売実績　3月9日時点の販売実績無し。

４．HP について　（和田委員）

　現在、日本音響材料協会の HP から問い合わせや購読の申込、会員の申込があると、問合せや申込があったとの自動メールが来る様になったおり、HP からの申込なのかが直ぐに判る様になった。

　令和５年度の HP 改定に関してはカントーと打合せ実施中、予算が通れば昨年に引き続き改定作業の実施予定。

＊日本音響材料協会の TOP ページ一番したに協会のロゴ入れの修正実施

＊令和４年度に改定できなかったページの更新作業

＜質疑＞

・HP の音響技術の過去の目次検索が現在出来ない状態になっているが？（岡本委員）

＝現在修正作業中です。

５．　2023 年に向けての協会の進め方について

3 月 24 日理事会で説明予定：

①　令和４年度の決算見込み、令和５年度予算案に関して

配布資料 EXCEL ファイル「音響材料協会・R4 年度通期見通し」「令和５年度事業計画(案)」参照。

・機関紙発刊等事業で【購読会員会費】2,880 千円＝予算 240 名だが現状は 228 名の登録。

　令和５年度予算案でも 240 名としており、現状より増やす必要がある。

･令和４年度は音響技術 200 号での予算増は見ていたが､200 号は当初の想定より支出が多くなった。

・予算化していたアルバイトの採用はしなかった、賀詞交歓会も中止した。

・令和４年度の次期繰越見込みは予算 645 万円に対して 497 万円の見込み。

・UR の調査報告収入は令和４年度から令和５年度にずれ込み 132 万円。

・令和５年の講習会開催　基礎講習会は 7/4 予定、技術講習会も実施する予定にしている。

・法人会員費の減少　-648 千円（和翔商事-300、出雲土建-300、静永理事-48)。

・支出(管理費)今回実施を見送った賀詞交歓会費用 90 万は令和５年度予算案にはいれた。

その他 HP 維持費、PC１台購入など。

・令和５年度予算案の次年度繰越額　426 万円

②　令和５年音響材料協会年間作業概況工程　担当の割振り

　配布資料 EXCEL ファイル「令和５年音響材料協会年間作業工程」を参照。

・年間の作業スケジュールに運営委員の担当案を入れている。

毎月の活動報告なども含めて実施して頂く担当者として名前を入れているので検討して欲しい。

・運営委員；大建工業は長島委員から宮本さんなる予定、パラマウント硝子工業からも運営委員を依頼。

・運営委員名簿確認；旭ファイバーグラス近藤さんの部署名が 4 月から技術開発本部→生産本部になる。

　その他変更が必要箇所あれば連絡の事。

６．日程関係、その他

　・次回運営委員　4/20(木) 14 時~　（日本ガラス工業センタービル会議室）

以上

令和５年 ４月度運営委員会議事録

一般社団法人日本音響材料協会

日　時　：2023 年 4 月 20 日(木)　14:00～16:00

場　所　：日本音響材料協会　会議室／WEB 会議　　（以下敬称略）

出席者　：猪脇専務理事、和田委員、山野委員、平田委員、岡本委員、

※宮尾顧問、※松本委員、※長島委員、※野桑委員　　※オンライン参加

欠席者　：近藤委員

議事録　：野桑

はじめに）長島委員は今回で委員会出席は最後となる。次回より宮本氏に交代

1.会員の頁について（猪脇専務理事）

・202 号（2023 年 6 月発刊）特集：音響に関する規格の現在（仮）

(1)　技術原稿：日本環境ｱﾒﾆﾃｨ

(2)　Q&A：日本音響エンジニアリング

・203 号（2023 年 9 月発刊）特集：未定

(1)　技術原稿：　吉野石膏

(2)　Q&A：　大建工業　　⇒長島委員にて了解された

・204 号（2023 年 12 月発刊）特集：未定

(1)　技術原稿：未定　　⇒東邦亜鉛へ打診する　　（担当：猪脇専務理事）

(2)　Q&A：未定　　⇒旭ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽへ打診する　（担当：猪脇専務理事）

2.　ホームページ関係（和田委員）

・3/17 から改善し、アナルティクスで来訪者カウントできるようになった。

過去の計数はのべ人数だったが、ダブルカウントはしない方法に変更。現状閲覧者 266 名は真の来訪者と思われる。1 月単位での計数可能。

・HP 問合せﾌｫｰﾑからの問合せ 11 件　（内訳：基礎講習会 7 件、DVD2 件、その他 2 件）

※スマホ対応改善が効果を上げていると感じる（和田委員）

2.【音響技術】関係（猪脇専務理事）

・最新版 DVD（第 4 版）販売実績　1 枚（累計 92 枚）

・バックナンバーは 200 号　1 冊

3.　出版本「集合住宅のリフォームと音」3,850 円（3,500 円+消費税 10%）　（猪脇専務理事）

・出版本の販売実績　1 冊

４．講習会関係（山野委員）

・基礎講習会　4/13～申し込み受付開始　4/20　5 社 11 名（最大は 30 名可）

・会場入場者は、30 人参加者＋主催側 10 名まで

・申し込み期限は原則 6 月 30 日までとする

・サンプル材…講師が持ち込み、持ち帰り＋展示用各社ＰＲサンプルの持ち込み検討

・日本環境ｱﾒﾆﾃｨは講師変更。岡本氏⇒石川氏。その他は昨年同様。

確認事項）

・資料は協会で作成する。（担当：和田委員）

・プログラムは山野委員にて作成する（担当：山野委員）

・会員の新人教育にも利用を検討してもらう（担当：各委員）
・収容人数方針変更あれば、協会へ連絡してもらう（担当：和田）
・資料原稿は 6/14 までに PPT 資料を各講師よりメールで和田委員へ送信する（担当：各講師）
※資料の容量が大きい場合の資料受領方法は別途相談。
・6 月の運営委員会は 6/22 とする。（担当：各委員）
・当日の DVD、書籍販売は、現金授受があるので行わない。ただし、見本だけ置いておく。
各社でＰＲサンプル検討し、猪脇専務理事、山野委員に連絡すること（担当：各委員）

5. 専務理事より

1） 活動担当の報告

①6.購読会員の獲得（野桑委員）
計画案提示、まずは関係者打合せを実施し、今後の計画を決める

②7.基礎講習会（山野委員）
（前項の通り）

③8.技術講習会（WEB 会議並びにセミナー形式も検討）（平田委員）
進捗なし。賀詞交歓会と絡めて開催検討中、理事会、編集委員会からの意見を含め別途議論予定

④9.勉強会　（宮尾顧問）
環境、状況を見て別途検討

⑤10.見学会　（近藤委員（欠席）、猪脇専務理事）
（次項記載）

⑥11.賀詞交歓会、交流会
特に進捗なし
実施要否検討中、会場は予約済（1/26、アルカディア／2 階）

⑦12. 決算集計、監査、納税
会計ソフト導入検討
・事務処理（請求処理、シール印刷など）を自動化できないか検討中
・カントーに「キントーン」利用に関する見積もり依頼
キントーン…　利用料：7500/月以上　（1500×5 人以上の登録が必要）
オリジナルシステムを組むと数十万～かかる可能性あり、見積もり中
・印刷フォーマットはあるか（岡本委員）
…250 件の送付先の Excel はあるが、修正できる人は利用できるが、万人向けではない。
間違えを避けるために、誰でも利用できるソフトや、業者に委託するが良いと考えている。
インボイス制度対応が課題。協会での登録がないと消費税が処理できない。
購読会員費は非課税…会費は非課税とのことは会計士からの助言あり。DVD、書籍販売、
UR 等の委託事業は消費税対象。参考に HP は 8 千円/月の管理費用がかかっている
（和田委員）

6. 理事会（猪脇専務理事）
・決算は 500 万円強の黒字、3 月請求分の 3 月入金等あり
・賀詞交歓会は、会場予約済み。今後、実施可否検討していく
・井上理事提案の【協会が国の認定機関】になることは、国交省と交渉したが、公正性の担保が困難

なので、断念する。

条件）　・理事長は公正性を担保できるように企業以外で人選すること

・理事会の半分以上が音の公的な専門職で構成されていること

・協会運営に関する理事から意見を聞き、運営委員会に相談した。

(1)運営委員会に理事が交代で毎回参加したらどうか

⇒特に問題ない（各委員）

⇒各理事は多忙で参加できる時間を確保できるか次第と思う（和田委員）

⇒理事長と相談して決める（専務理事）

(2)運営委員会を例えば、エンジニアリングメーカー、遮音材料メーカー、ガラスウールメーカーとかで分けて、持ち回りで委員長を出したらどうか。

※専務理事が全て運営委員会を仕切るのではなく、運営委員から委員長選出するのはどうか（猪脇専務理事）

⇒目的は？（岡本委員）

⇒グループ分けが良く理解できない（和田委員）

⇒運営委員から委員長を持ちまわり、委員会を活性化させるとの話は理解できない。運営委員会は理事会方針の具体化を進める組織であり、理事会の考えを専務理事にてとりまとめ仕切ってほしいと思っている。協会が別組織のように理事が意見を述べられているように感じるのは残念。協会は各社自身であり、各社が協会運営を担っているとの自覚を期待する。それゆえ委員長を立てる事には反対しないが、運営委員会を仕切る委員長は、専務理事もしくは理事の中から立てていただくべきと考える。（野桑委員）

(3)正会員が辞退して、金銭的に厳しいのであれば、音の著名な先生方と接点を持ちたいメーカーは多いと思うので、会合にはメーカーの展示などして展示資金を集めたらどうか。

(4)技術講習会を限定 10 名、2 時間/回×4 回で直に先生に指導を受けられる講習会にするとか、井上先生、弁護士の先生に音のトラブル相談ゼミナーなどを実施したらどうか。

※理事より(3)、(4)のアイデアをいただいたが、運営委員各人もアイデアあれば、提案、検討してほしい（猪脇専務理事）

(5)音響技術は WEB にして情報をもっと発信する。WEB ならモノクロではなくカラーにできる。音響技術の記事をもっと安く、だれでも見られるようにする。必要な部分の切り売りも検討すべきである。

⇒デジタル化は可能。電子ブック化はヨシダ印刷（音響材料出版担当）、カントー（HP 運営管理担当）共に可能だが、これまでの原稿の版権はヨシダ印刷にあり、HP 掲載には契約等の縛りが発生する。一応各社に見積依頼はしている。また電子ブック化した後、冊子（12,000 円/年）と同様の収入を見込むのは難しい。原稿校正が最も費用･手間がかかる。80p→40p に減らすなどできれば、1 冊単価は下がる（和田委員）

⇒内容半分で同額は購読会員も納得できないのではないか（岡本委員）

(6)　工場見学会を正会員以外にも一般の方の参加を認め、会員ならばタダだけど、一般だと 1 万円とか差別化して会員を増やす。

(7)　工場見学会で、日本音響ｴﾝｼﾞの千葉、日本環境ｱﾒﾆﾃｨの竜ケ崎も利用することの OK をいただいた。

※多くの場所で了解を得ている。（猪脇専務理事）

工程表の担当は上記の件を踏まえて検討を依頼した。（専務理事）

６．日程関係、その他

・次回運営委員　5/25(木) 14 時~　（日本ガラス工業センタービル会議室）

以上